

上海かわら版

上海日本人学校浦東校
野田 剛

平成二四年一月号

このまえの通しんは、いかがでしたか。上海日本人学校のことを知ってもらえましたか。

今回は、上海のまちのようすをお伝えしたいと思います。上海は人口が二三〇〇万人と言われています。日本人は五万人・八万人とも言われ、上海に住む外国人の中で一番多いと言われています。

今回は、私が一番よく行くスーパーについてご紹介します。日本によくあるもの、あまり見かけないものがありますので、それをごらんください。



一月二三日は、旧正月です。日本の元旦みたいな感じがくです。親せき一同集まり、おいしいものを食べたり飲んだりしてお祝いします。お祝いごとがある時、店の中は赤と黄色と金色一色になります。とにかく、中国人は赤が大好きです。

この赤みのくだものは、ドラゴンフルーツといえます。キウイフルーツから甘みをとったような食感です。見た目が、かなりおもしろいです。



肉コーナーです。こちらの肉は、頭も足も羽もそのまま、焼き上げます。クリスマス風のローストチキンに頭がついていると考えると、おい。なれるまでは、あまり見ることができませんでしたが、今は大ジョウぶです。食べると、日本と変わらぬ、食べなれた味です。

もちろん、日本で見なれたものもたくさん売っています。それそれ何かわかりますか？

右上から時計まわりに紹介すると、味千ラーメン・伊藤ハム・きのこの里・コアラのマーチです。

日本で開発された食べ物、おいしいと評判です。中国の人もたくさん食べています。

上海には、日本の会社がたくさん工場をたてて、いろいろな物を作っています。ですから、上海にいながらも、中国の物だけではなく日本の物も手に入れることができます。

今回はスーパーの紹介でした。次回をまたお楽しみに！